

アライアンスビジネス委員会

平成25年度活動報告書

1	はじめに	3
2	アライアンスビジネス委員会の活動	4
	委員名簿	4
	運営体制	4
	委員会開催実績	5
3	アライアンスビジネス交流会	6
	アライアンスビジネス交流会とは	6
	交流会への参加メリット	6
	交流会のスケジュール概要	7
	交流会への参加について	7
	平成25年度の開催実績	8
	平成25年度プレゼンテーション企業・製品一覧	10
4	アライアンス大賞	12
	アライアンス大賞とは	12
	第10回CSAJアライアンス大賞受賞企業・製品の紹介	13
	過去のアライアンス大賞受賞企業・製品一覧	15

1

はじめに



アライアンスビジネス委員会では、ITプロダクトや関連サービス、技術を持つITベンチャー企業などがプレゼンテーションの場を利用し、プレゼン実施企業と聴講者とのビジネスマッチングや懇親を促すことができる場を提供することを目的としたアライアンスビジネス交流会を平成13年4月からスタートし、平成25年度で13年目、通算104回の開催となりました。

平成25年度は、年間6回開催しました。また、業界関連団体（地域団体含む）との合同企画開催も今年は3回開催され、9月には島根県の公益財団法人しまね産業振興財団、11月には一般社団法人組込みシステム技術協会（略称JASA）、そして平成26年2月には一般社団法人日本ソフトウェア産業協会（略称NSA）の協力を得て、相互の会員企業間における協業の可能性を模索する機会を提供することができました。特に島根県といった地域団体とのビジネスマッチングも引き続き実施することができ、今後の地域企業との連携や活性化を推進することにつながるものと確信しています。

交流会内で行った特別講演では、従来のITやソフトウェアといった話題とは異なったテーマで講師を選び、2回講演を実施しました。平成25年6月の講演では「はやぶさを継ぐもの」、平成26年2月の講演では「反社会的勢力排除の取組み」と題してそれぞれ講演いただき好評を得ました。

アライアンス大賞は、昨年に引き続き最優秀賞の企業が選出されず、またアライアンス大賞自身も今回で終了となり、一区切りをつけることとなりました。また別の形で優れた製品を表彰できる仕組みを検討することが今後の課題になると思います。

アライアンスビジネス委員会では、今後もITベンチャー企業の発掘・育成支援ならびにソフトウェア業界発展に寄与するための活動を引き続き行ってまいりますので、ぜひ、アライアンスビジネス交流会に発表者として、そして聴講者として積極的にご参加いただき、新しい技術やアイデアに触れていただくとともに、人的交流の拡大や新たなビジネス提携のきっかけ作りの場として活用いただけることを祈念しています。

最後に、アライアンスビジネス交流会への運営協力、ITベンチャー企業の育成支援のための施策検討、プレゼンテーション実施企業へのアドバイス、アライアンスビジネス交流会当日の人脈拡大のサポートなど、多大なご協力を賜りましたアライアンスビジネス委員会メンバーの皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
アライアンスビジネス委員会 委員長 田中 聡

2

アライアンスビジネス委員会の活動

委員名簿

(順不同、敬称略、部署役職は平成26年3月31日時点)

	氏名	会社/所属
委員長	田中 聡	株式会社マイクロソフトウェア 代表取締役社長
委員	中道 泰隆	株式会社リードレックス 執行役員
委員	池田 義己	株式会社大塚商会 マーケティング本部共通基盤プロモーション部 部長
委員	折登 泰樹	ピー・シー・エー株式会社 専務取締役
委員	大原 泉	株式会社オービックビジネスコンサルタント 取締役 営業本部 広報室長
委員	廣田 泰久	日本事務器株式会社 事業推進本部 業種・業務ソリューション事業推進部 部長
委員	村田 義篤	株式会社内田洋行 情報事業本部 情報システム事業部 ネットワーク営業部 部長
委員	谷畑 良胤	株式会社BCN ビジネスメディア部 部長
委員	坂元 祥浩	シネックスインフォテック株式会社 執行役員 物流・パーチェシング部門長
委員	多山 信幸	株式会社マイクロソフトウェア 総務部長
委員	打越 康志	株式会社インターコム 取締役 開発本部長
事務局	原 洋一	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局長
事務局	小林 哲	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

運営体制

アライアンスビジネス委員会	アライアンスビジネス交流会を主催し、プレゼン企業の評価や、業界に有益なアライアンスの検討などを行う委員会
アライアンスビジネス交流会	IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけることを目的とした交流会
アライアンス大賞評価委員会	アライアンスビジネス交流会でプレゼンを実施した企業の提携内容を評価し、アライアンス大賞各賞を決める外部有識者による諮問機関



委員会開催実績

「アライアンスビジネス委員会」は、IT企業間のビジネスアライアンスの活性化を目的として、アライアンスビジネス交流会（主にベンチャー企業や中小企業にプレゼンテーションの場を提供、平成13年度より実施）の主催・運営を行うとともに、関連団体や地方自治体等との連携・協力、時事のテーマに基づくセミナーや統一テーマのプレゼンテーション企画などを行っています。平成25年度の委員会等の開催は以下のとおり。

- 第1回アライアンスビジネス委員会

日時:平成25年4月25日(木)

場所:CSAJ会議室

議題:前年度活動報告と今年度活動計画、第10回CSAJアライアンス大賞 第一次審査

- 第2回アライアンスビジネス委員会

日時:平成25年11月15日(金)

場所:CSAJ会議室

場所:活動報告と次年度活動計画

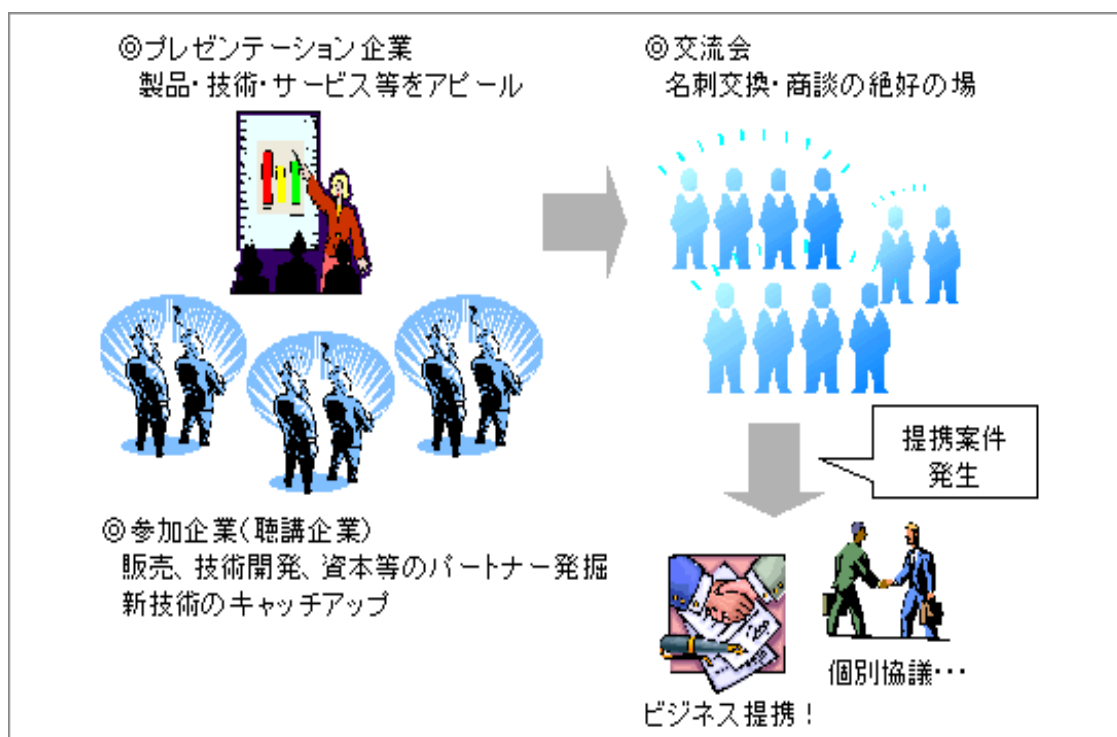
3

アライアンスビジネス交流会



アライアンスビジネス交流会とは

「アライアンスビジネス交流会」とは、ITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションの場を提供し、参加企業相互のビジネスマッチングや懇親を促す場を提供している交流会です。1回4社のベンチャー企業等が、自社のITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施し、プレゼンテーション後、参加者同士のビジネス交流・商談（懇親会）を行います。



交流会への参加メリット

ビジネスを成功させるためにスピードは重要な要因となる時代を迎えています。スピードや効率を考慮した場合、企業にとってアライアンスは必要不可欠な戦略となりました。



プレゼンテーション企業にとって

- メリット 1: ビジネスパートナーを見つける機会を得られます。
- メリット 2: 自社の IT プロダクトや関連サービスを PR することができます。
- メリット 3: 参加企業と販売、技術開発、資本等の提携を結ぶ機会が得られます。
- メリット 4: アライアンス大賞各賞の対象となる機会を得られます。また、各賞を受賞することで IT プロダクトや関連サービスの認知度が上がり、企業の信用力が高まります。

▶▶▶ 聴講企業にとって

- メリット 1: ビジネスパートナーを見つける機会が得られます。
- メリット 2: 新規事業のためのビジネスシーズが発掘できます。
- メリット 3: ビジネススペースで開発された新しい技術をキャッチアップできます。
- メリット 4: 業種／業態の異なる様々な企業との交流を図ることで、多角的な情報収集ができます。
- メリット 5: 取締役、執行役、事業責任者など決裁権を持つ聴講者との交流により、有益な人脈形成ができます。

▶▶▶ 交流会のスケジュール概要

タイムテーブル	TOSLOVE大久保	TOSLOVE山王
進行説明	15:00～15:05	14:00～14:05
特別講演	15:05～15:55	14:05～14:55
休憩	15:55～16:05	14:55～15:05
プレゼンテーション1	16:05～16:30	15:05～15:30
プレゼンテーション2	16:30～16:55	15:30～15:55
休憩	16:55～17:05	15:55～16:05
プレゼンテーション3	17:05～17:30	16:05～16:30
プレゼンテーション4	17:30～17:55	16:30～16:55
交流/商談(懇親・名刺交換会)	18:05～19:00	17:05～18:00

- ★ ● 例は特別講演が有りの場合。特別講演がない場合もあります。
- ★ ● プレゼンテーションは1回につき4社が、プレゼンテーションを実施。
プレゼンテーションの時間は、1社あたり25分以内。
質疑応答は懇親会の場で。
- ★ ● 交流／商談(懇親・名刺交換会)
立食形式で実施。
プレゼンテーション企業と聴講企業との交流。
プレゼンテーション企業間の交流。
聴講企業間の交流。

▶▶▶ 交流会への参加について

▶▶▶ プレゼンテーション(発表者)参加資格

- ▶ ITプロダクトや関連サービスをお持ちの中小・ベンチャー企業

- ★ ● β版やプロトタイプ版のITプロダクトや、受託開発(オフショア・ニアショア開発等)は除く
- ★ ● プレゼンテーション内容については、事前審査(ヒアリング)を実施。

- 参加費(プレゼンテーション、展示物設置、プレゼンター1名分含む)
CSAJ 会員: 5,000 円 / 非会員: 20,000 円

◇プレゼンテーションのお申し込み

以下URLよりお申込みください。事務局よりご連絡申し上げます。なお、応募多数により事務局からお断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ プレゼンテーション参加希望申込先

<http://www.csaj.jp/activity/ab/>

▶▶▶ 聴講希望者参加資格

▶ ビジネスパートナーを模索されている企業



- 新しい技術をお探しの方、新規事業をご検討の方に特に適しています。
- 参加費は会員：2,000円、会員外：3,000円となります(資料代・懇親会費等含む)。
- 会場により参加費が異なる場合があります。各回開催案内よりご確認・お申し込みください。

その他、アライアンスビジネス交流会に関してご不明な点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

▶▶▶ 平成25年度の開催実績

通算回数	日程	会場	参加人数	備考
第99回	2013/04/17(水)	TOSLOVE山王	41名	SFDCとの開催
第100回	2013/06/19(水)	TOSLOVE山王	46名	100回記念特別講演:NEC小笠原 雅弘氏
第101回	2013/07/17(水)	TOSLOVE山王	41名	
第102回	2013/09/18(水)	TOSLOVE大久保	40名	しまね産業振興財団との共催
第103回	2013/11/27(水)	TOSLOVE大久保	37名	組込みシステム技術協会との共催
第104回	2014/02/26(水)	TOSLOVE大久保	52名	日本ソフトウェア産業協会との共催 特別講演:「反社会的勢力排除の取組み」

▶▶▶ 開催会場

会場：関東ITソフトウェア健保会館 トスラブ大久保1F会議室

住所：〒169-0073 東京都新宿区百人町2-27-6

TEL：03-5925-5333 FAX：03-5925-5325

会場：関東ITソフトウェア健保会館 トスラブ山王2F会議室

住所：〒100-0014 東京都港区赤坂2-5-6

TEL：03-5570-1803 FAX：03-5570-1804

▶▶▶ 特別講演の開催実績

通算回数	日程	特別講演
第100回	2013/06/19(水)	<p>【特別講演】 「はやぶさ」を継ぐもの - この地球(ほし)の未来へ -</p> <p>【講演者】 小笠原 雅弘氏 日本電気株式会社 宇宙システム事業部 エキスパートエンジニア</p> <p>【講演概要】 2012年5月、この地球の今を視る水循環観測衛星「しずく」が打ち上げられ、広大な大洋、北極海に水／海氷の行方を追い始めた。2013年には分解能0.5mという世界でも最先端の性能を誇る地球観測衛星「ASNARO」の打ち上げが予定されている。2010年地球に帰還した「はやぶさ」の後を継いで、さらなる太陽系のフロンティアを目指す「はやぶさ2」や、太陽系の最も内側の惑星、水星を目指す「MMO」計画が進んでいる。「はやぶさ」のDNAを継ぐものたちの胎動が聞こえる。</p>
第104回	2014/02/26(水)	<p>【特別講演】 「反社会的勢力排除の取組み」</p> <p>【講演者】 芳賀 恒人(はが つねひと) 株式会社エス・ピー・ネットワーク 執行役員 主席研究員</p> <p>【後援概要】 メガバンクによる暴力団融資問題を受けて、金融機関だけでなく、一般の事業者においても反社会的勢力排除の重要性が増えています。暴力団関係者と知りながら関係をもつことはもちろん、十分な注意を払わずに関係を持ってしまうことで、社会的に許容されなくなっていることを認識する必要があります。本セミナーを通して、反社会的勢力の捉え方、暴力団排除条例、反社チェック、対応要領など反社会的勢力排除の取組みにおいて、最低限理解しておくべきポイントについて、具体的な事例を交えながら、分かりやすく解説していきます。</p>

▶▶▶ 他団体との協力開催等の実績

- 島根県(公益社団法人しまね産業振興財団)との協力開催
第102回アライアンスビジネス交流会
- 一般社団法人組み込みシステム技術協会(JASA)との合同開催
第103回アライアンスビジネス交流会
- 一般社団法人日本ソフトウェア産業協会(NSA)との合同開催
第104回アライアンスビジネス交流会

▶▶▶ ストリーミング配信の実績

会員企業の株式会社グリーンキャット様の協力を得て、平成24年度に引き続き交流会の様様をストリーミング配信するとともに、オンデマンドでのアーカイブ配信を行いました。

- 配信ページ <http://www.16lc.jp/csaj/>



- ストリーミング配信は平成25年度で終了。

▶▶▶ 平成25年度プレゼンテーション企業・製品一覧

開催日	企業名	製品カテゴリ/製品名
平成25年4月17日(水) 第99回	株式会社チームスピリット	ERPのフロントウェア (Force.comによるクラウドサービス) ・チームスピリット
	株式会社ケーピーエス	不動産会社さま及び工務店さま向け顧客管理・営業支援システム ・顧きやく録
	株式会社レッティ	全業界向けクラウド型パッケージ グループウェア ・Argus(アルゴス)
	株式会社オークニー	訪問巡回、設備管理、物件管理、リテール営業など、地域密着型の業務の効率化をアップするアプリケーション ・Orkey GeoGraph (オークニー ジオ グラフ)
平成25年6月19日(水) 第100回	新高和ソフトウェア株式会社	サーバーから光ディスクへバックアップ・アーカイブソリューション ・「群刻 ゲンコク」全自動オンデマンド光ディスク発行・管理システム
	anbx株式会社	マイクロソフト社Dynamics CRM(オンライン/オンプレミス)とNEC PBX (Aspire+SVシリーズ)をCTI連携するソフトウェア製品 ・CT-Clip(シーティークリップ)
	株式会社オーエイチエスニューノ	出版業様向け アルバム作成エディタ ・楽ブックエディタ(PC版、および、タブレット版)
	株式会社テンダ	業務効率化オーサリングツール(マニュアル作成・コンテンツ作成) ・「Dojo」(ドウジョウ)
平成25年7月17日(水) 第101回	株式会社UEテック	バーチャルエージェント ・Viii (Virtual interactive intelligent interface)
	株式会社アンカーネットワークサービス	Windows端末の操作ログおよびハードウェア・ソフトウェアの情報をクラウド上の管理サーバに収集し、保管・検索・アラーム検知 ・EecoBANK(イーエコバンク) アクセス&セキュリティ管理サービス
	株式会社トゥービーソフトジャパン	ソフトウェア(UI/UX開発ツールソフト及び開発環境) ・エクスプラットフォーム(XPLATFORM): ワンソースでマルチユース対応可能なUI/UX開発・運営環境 ・UX-Studio: UI/UX開発ツール
	株式会社ブルーポート	パソコンの操作を簡単に文書マニュアルや動画、教育コンテンツにすることができるWindowパソコン用マルチマニュアル作成ソフトウェア ・マルチマニュアル作成ソフトウェア iTutor(アイチューター)
平成25年9月18日(水) 第102回	株式会社Decision Japan	ネットワーク・セキュリティ・ソリューション ・E-Detective ネットワーク監視システム + Https/SSL解析Option
	株式会社日本ハイソフト	生産現場向けリスクアセスメントシステム ・「ADVANCE/Web リスクアセスメント」(アドバンス/ウェブ リスクアセスメント)
	株式会社ナビット	企業向けデータ ・「入札なう」、「ふるふるサービス」
	株式会社プロビズモ	高等学校向け教務/校務支援システム ・教務手帳

<p>平成25年11月27日(水) 第103回</p>	<p>WORLD MEDICAL CENTER JAPAN 株式会社</p>	<p>クラウド化された健康医療情報伝達システム ・フルパッケージサービス (Card + Web + Mobile)、・モバイルパッケージサービス (Web + Mobile)</p>
	<p>株式会社ユビキタス</p>	<p>クラウドHEMSソリューション 組込み機器向けHEMSソフトウェア開発キット ・「Navi-Ene」(ナビエネ) 製品・サービスシステムソリューション ・「Ubiquitous ECHONET Lite」 開発キット</p>
	<p>株式会社SRI</p>	<p>パッケージ及びクラウドシステム ・「みちびき」 特許名: 適応型マネジメントシステム ・「教育サービス」: 仮称(商標出願中) eラーニングシステム</p>
	<p>ユークエスト株式会社</p>	<p>建物、工場向けEMS、太陽光発電・水力発電監視システム向け通信機器 ・「EcoQuest (エコクエスト)」 ・「DemandACE (デマンドエース)」 ・「BBsQuest (ビービズクエスト)」</p>
<p>平成26年2月26日(水) 第104回</p>	<p>株式会社ティーエヌエス</p>	<p>情報通信サービス ・一斉連絡配信システム「オクレンジャー」</p>
	<p>株式会社イークラフトマン</p>	<p>北海道の食品流通、物流に特化したEDI、EOSサービス ・「Quick Connect Service」(クイックコネクトサービス)</p>
	<p>株式会社ワールドスカイ</p>	<p>データベース暗号化ソリューション ・D'Amo (ディアモ)</p>
	<p>データアクセス株式会社</p>	<p>データベースを使ったサービスの無中断を実現するパッケージ・ソフトウェアとデータベースを使ったサービスの無中断を実現するアプライアンス ・サービス無中断を実現するパッケージ・ソフトウェア: DB/Control+DBC/APKeeper ・サービス無中断を実現するアプライアンス: Diehard</p>

4

アライアンス大賞



アライアンス大賞とは

「CSAJアライアンス大賞」とは、アライアンスビジネス交流会で、自社のITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業（主にベンチャー企業、または中小企業）に対して、その後一定期間におけるアライアンスの実績と将来性を評価し授与するもので、その評価・実績に応じて“最優秀賞”、“優秀賞”、“奨励賞”がそれぞれ授与されます。

- 優秀なアライアンスの実績を収めたが、中堅以上とみなされる会員企業の場合には、“特別賞”を授与することがあります。
- アライアンス大賞を授与された企業のアライアンスパートナー（複数の場合もある）に対して、“パートナー賞”を授与することがあります。



- アライアンス大賞は平成25年度の第10回をもって終了しました。



背景

我が国の経済は、市場競争の激化、グローバル化、消費者ニーズの多様化などが進展し、起業率と廃業率の逆転現象が起こっています。そのような中で、経済の活性化や新たな雇用の創出を図る上で、ITベンチャー企業支援を積極的に行うことが望まれています。残念ながら、ベンチャー企業の育成に必要な教育・文化・社会のしくみなど、環境の未整備が否めない状況にあります。また、起業家自身にも、失敗をひとつの経験やバネにし、より大きなビジネスに賭けていく、フロンティアスピリッツが培われているとは言えません。

アライアンス大賞は、現時点におけるベンチャー企業の小さな成果や実績を踏まえ、将来の可能性を評価することにより、起業家のモチベーションを高め、市場でブレイクスルーできるような日本初の企業が生まれることを願って創設されました。支援する側にも “パートナー賞”を授与することにより、更なるベンチャー育成への輪が広がり、業界発展に寄与できるものと信じています。



対象企業

第10回アライアンス大賞（平成25年6月発表）では、平成24年（平成24年1月～平成24年12月）に、アライアンスビジネス交流会でITプロダクトや関連サービスのプレゼンテーションを実施した企業が対象となります。



選考基準

- プレゼンテーション後（3～6ヶ月間程度）のアライアンス状況及び実績
- プロダクト・サービス等の市場性（市場規模や今後の市場展望、成長の見込みなど）
- プロダクト・サービス等の新規性（製品の独自性・革新性・目新しさなど）
- プロダクト・サービス等の技術力（新しい技術への取り組み、開発能力など）

選考方法

1 第一次審査(アライアンスビジネス委員会による審査)

プレゼンテーション後の提携内容等およびCSAJ事務局からのヒアリング結果（アライアンス実績があった、または見込まれる企業に対して当該企業へのヒアリングを実施）、アライアンスビジネス交流会聴講者からのアンケート結果などをもとに検討し、第二次選考へ進む候補企業を選考します。

2 第二次選考(アライアンス大賞評価委員会による選考及び受賞企業決定)

第一次審査を通過したアライアンス大賞 各賞受賞候補企業に対して、有識者で構成される評価委員会にて選考及びヒアリングを行い、アライアンス大賞 各賞を決定します。

アライアンス大賞評価委員会

(順不同、敬称略、所属/役職等は当時のもの)

	氏名	所属/役職
委員長	山名 早人	早稲田大学理工学術院情報理工学科教授
委員	藤田 憲治	日経BP社 パソコン局長
委員	西澤 民夫	独立行政法人中小企業基盤整備機構 新事業支援部 統括プロジェクトマネージャー
委員	武市 博明	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 常務理事
委員	杉浦 和史	杉浦技術士事務所(情報工学部門)技術士

アライアンス大賞発表及び表彰

CSAJ総会後のアライアンス大賞表彰式で受賞企業を発表し表彰。

授与品ならびに受賞特典

- 表彰状及びトロフィー
- 総会後の懇親パーティ会場にて展示スペースの提供
- News Release による周知や CSAJ Web ページなどへの掲載

第10回CSAJアライアンス大賞受賞企業・製品の紹介

▶ 優秀賞: ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社

代表者	代表取締役 山崎 健一
住所	〒162-0845 東京都新宿区市ヶ谷本村町2-5 AD市ヶ谷ビル3F
設立年月	平成17年9月7日
資本金	200万円

従業員数	10名
TEL	03-3235-0905
URL	http://www.netrecorder.jp/
事業内容	ナレッジシステム「NetRecorder」開発・販売・クラウドサービスの提供 システム受託開発、コンテンツ作成、IT技術研修
受賞製品	NetRecorder(ネットレコーダー)シリーズ
受賞製品特徴	高速無線LANの普及とスマートデバイスの企業導入が加速しており、企業内の様々な工程でデジタルコンテンツが活用できる時代です。対象はこれまでの全社画一的なものからより業務に密着したものとなり、スモールセグメント内で完結できる仕組みが求められています。「NetRecorder」は一連のワークフロー「素材確保・編集・配信・効果測定・管理」をワンストップ、「デジタルコンテンツ＝対象の製品・サービス・業務」を定着させるPDCAサイクルを実現します。

▶ 奨励賞：ニューロネット株式会社

代表者	代表取締役 前川博文
住所	〒194-0045 東京都町田市南成瀬5-1-6 台益ナルセビル2F
設立年月	2002年3月28日
資本金	10百万円
従業員数	7名
TEL	03-3202-2992
URL	http://www.neuronet.co.jp/
事業内容	インターネットによるWeb会議サービスの提供
受賞製品	もしもしConcierge(もしもし コンシェルジュ)
受賞製品特徴	もしもしConciergeはお客様とセンター間で映像/音声、資料共有、画面共有で、見えるコミュニケーションができるコールセンターです。対面販売、受付サービス、窓口相談、通訳サービス、などの業務に力を発揮します。 主な特徴は、 ・Web ACDで能力要件、空き状態を考慮し、最適オペレータに自動接続。 ・お客様の端末は、iPad/iPhoneのiOS系、Android系両方のスマホ/タブレットで動作。 ・インターネット通信(TCP/IPベース)ですので、毎月の電話料金不要。 ・オペレータ席1席から数1,000席の大規模センターまで対応可能。 ・クラウド型なので大掛かりのCTI設備導入は不要。PC1台で安価に開始できます。

▶ 奨励賞：株式会社パラドクス

代表者	代表取締役 大西 あゆみ
住所	〒155-0033 東京都世田谷区代田6-1-28白洋ビル3F
設立年月	1990年5月
資本金	10百万円
従業員数	5名
TEL	03-6323-3646
URL	http://www.paradox55.com/
事業内容	マニュアル制作、マニュアル等作成支援
受賞製品	Paradox Word(パラドクスワード)テンプレート
受賞製品特徴	弊社のマニュアル制作の現場で生まれた文書作成支援ツールです。マニュアル、企画書、報告書などの長文の文書作成に威力を発揮します。独自の「文書パーツ」配置方式を採用しているので、Wordのレイアウトに悩まされることなく、読みやすく美しい文書を作成することができます。企業内のドキュメントの共通フォーマットとして利用することにより、文書作成の効率が飛躍的に向上し、文書の再利用性が高まります。さまざまな人が修正を加えても、文書の階層もレイアウトもくずれません。



過去のアライアンス大賞受賞企業・製品一覧

▶ 第1回JPSAアライアンス大賞(発表:第19回通常総会/平成16年6月9日(水))

賞	受賞企業/製品
最終優秀賞	なし
奨励賞	株式会社高速屋 100倍以上速くデータ処理ができるソフトウェアテクノロジー
奨励賞	株式会社ターボデータラボラトリー 世界最速LFMコンピューティング技術
奨励賞	株式会社クオリティ・アンド・バリューコンサルティング 「ビジネスの知恵」を身につけるWeb-OJTプログラム
特別賞	株式会社ソフトクリエイト 書類がそのままブラウザの中で直感的に入力できるフォームアプリケーションサーバー

▶ 第2回JPSAアライアンス大賞(発表:第20回通常総会/平成17年6月8日(水))

賞	受賞企業/製品
最終優秀賞	redたんぼぼ有限公司 「keymowe」Web専用動画コンテンツ作成ソリューション
奨励賞	株式会社チェプロ 「Captain Play@」Web帳票作成、閲覧セキュリティ管理システム
奨励賞	株式会社ネットディメンション 「Matrix Engine」3Dコンテンツオーサリングツール
奨励賞	株式会社クオリティ・アンド・バリューコンサルティング 「ビジネスの知恵」を身につけるWeb-OJTプログラム
奨励賞	株式会社ヴィパーク 「BOLERO」SQLサーバ専用データベース開発ツール 「SARASA」SQLサーバ専用業務アプリケーション構築ツール

▶ 第3回JPSAアライアンス大賞(発表:第21回通常総会/平成18年6月14日(水))

賞	受賞企業/製品
最終優秀賞	スマートワイヤレス株式会社 「Pro Facer」顔認証セキュリティソリューション
優秀賞	株式会社Knowlbo(ナルボ) 「ワークフローEX」ワークフロー管理システム
奨励賞	フォーディーネットワークス株式会社 「Media Frame」Flashコンテンツオーサリングツール
奨励賞	ワークスコープ株式会社 「e-すまいる」障害者施設向け業務支援ソフト
パートナー賞	エヌ・ティ・ティ・インテリジェント企画開発株式会社

▶ 第4回CSAJアライアンス大賞(発表:第22回通常総会/平成19年6月13日(水))

賞	受賞企業/製品
最終優秀賞	株式会社ハイパーテック 「Crack Proof」クラッキング防止ソフト
優秀賞	ソフトアドバンス株式会社 「prezvision」3Dプレゼンテーション用ソフトウェア

奨励賞	株式会社アズベース 「Biz Base」中小企業向け業務支援グループウェアASPサービス
奨励賞	イーズ・コミュニケーションズ株式会社 「影郎／セキュアポケットPC」情報漏洩対策ツール
奨励賞	株式会社ニューフォレスター 「Sports Mirror - スポーツミラー」USB利用動画配信ツール
パートナー賞	丸紅インフォテック株式会社

▶ 第5回CSAJアライアンス大賞(発表:第23回通常総会／平成20年6月11日(水))

賞	受章企業/製品
最終優秀賞	トライポッドワークス株式会社 「GIGAPOD OFFICEHARD」ファイル転送サーバ
奨励賞	株式会社ALBERT 「おまかせ！ログレコメンダー」推薦型検索エンジン
奨励賞	ビバコンピュータ株式会社 「Feel Phrase」画像検索エンジン、画像解析システム
パートナー賞	ユニファイジャパン株式会社

▶ 第6回CSAJアライアンス大賞(発表:第24回通常総会／平成21年6月10日(水))

賞	受章企業/製品
最終優秀賞	株式会社チェプロ 「WAOtech」Webシステム開発支援ツール
優秀賞	株式会社テラスカイ 「Sky on Demand」SaaS型データ連携ツール
奨励賞	サイバーステーション株式会社 「校内会計システム」公立幼稚園～小・中学校向け会計システム
奨励賞	株式会社ユニテック 「C4」アプリケーション開発用フレームワーク

▶ 第7回CSAJアライアンス大賞(発表:第25回通常総会／平成22年6月9日(水))

賞	受章企業/製品
最終優秀賞	フォーディーネットワークス株式会社 「4D DAM(Data Access Method)」高性能データベース
優秀賞	アイビーシー株式会社 「System Answer」ネットワークシステム性能管理ツール
奨励賞	ニューロネット株式会社 「SaasBoard」SNS型コラボレーションSaaSサービス
パートナー賞	株式会社日立ケーイーシステムズ

▶ 第8回CSAJアライアンス大賞(発表:第26回通常総会／平成23年6月8日(水))

賞	受章企業/製品
最終優秀賞	該当なし
奨励賞	モバイルシティ・ジャパン株式会社 「MapTown」双方向型コミュニケーション・サービス
特別賞	株式会社フォーラムエイト 「UC-win/Road for SaaS」SaaS型3次元リアルタイム・シミュレーションソフト 「UC-1 for SaaS」SaaS型土木設計ソフト

▶ 第9回CSAJアライアンス大賞(発表:第27回定時総会/平成24年6月13日(水))

賞	受賞企業/製品
最終優秀賞	該当なし
優秀賞	株式会社ビットリンク 「Choice RESERVE」多業種対応クラウド型予約管理システム
奨励賞	インヴェンティット株式会社 「Mobi Connect」スマートフォン遠隔セキュリティサービス
特別賞	株式会社ハイパーテック 「CrackProof for Android」クラッキングを防止する耐タンパセキュリティソフト

アライアンスビジネス委員会

平成25年度活動報告書

2014年4月1日 第2版



Computer Software Association of Japan
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル4F
TEL : 03-3560-8440
FAX : 03-3560-8441
<http://www.csaj.jp/>